

令和2年度 第2回学校関係者評価委員会の実施及び改善策について(報告)

実施日】令和3年1月21日(木) 10:50～12:40

【参加した評価委員数】7

屋久島町立中央中学校

評価 (委員記述) A (良い: 課題なし) B (おおむね良い: 課題有り) C (改善の必要有り: 課題有り)

項目	番号	評価の観点	資料及び取組状況	評価	改善策
学校評価の方法	1	自己評価は学校教育目標を重点化した設定となっているか。	自己評価書資料	A 5人, B 2人	<p>●保護者アンケート内容の見直しを図り、より適切なアンケートを実施する。</p> <p>●成果が数値や変容で、分かるような経営をすることで、家庭や地域からの信頼を一層高めていく。</p> <p>●今回の評価結果の公表についてもホームページで公表する。</p>
	2	自己評価は全校体制で定期的実施されているか。	各学期1回実施	A 5人, B 2人	
	3	自己評価の結果を踏まえた適切な改善が図られているか。	自己評価書資料 各学期学校経営案	A 5人, B 2人	
	4	自己評価項目の内容・量は適切か。	自己評価諸資料	A 5人, B 2人	
	5	生徒・保護者へのアンケートは適切か。	生徒・保護者・教職員アンケート	A 4人, B 3人	
	6	学校関係者評価の在り方は適切か。	令和元年度 年間2回	A 4人, B 3人	
	7	評価結果をわかりやすくかつ広く公表しているか。	HP, 学校便りで公表	A 4人, B 3人	
自由記述		<p>・有難うございました。いい機会です。子どもたちのために引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>・コロナウイルス防止対策が良いようですので、コロナ発生が無い状況を祈ります。校内での努力を願います。</p> <p>・真摯な取組がなされている。今後、適切に周知され、家庭でいかに子ども達の将来に向けた行動がなされるかが重要であると思います。</p> <p>・生徒が真剣に学習している様子が伝わってきました。</p> <p>・小学校も中学校へ進んでもきちんとできる子どもを育成していきたいと思ひます。本日はありがとうございました。</p>			

意見交換内容

評価委員からの意見等	学校からの回答
○ 3年生の進路希望状況を教えて欲しい。屋久島のすばらしさを理解した子どもたちを育てるために小中高で育てていかなければいけない。	○ 屋久島高校へ出願する生徒が多いが、私立高校へ合格した場合は受験者が減ることになる。引き続き、屋久島で学ぶことの意義を伝えていきたい。
○ マスクをしていると言葉が伝わりにくくなったりして、それによるトラブルはないのか。	○ マスクをすると表情がわかりにくく、伝わりにくいこともあるが大きなトラブルは聞いていない。合唱ではマウスシールドを使用した。不織布マスクの方が防止効果が高いという報道である。
○ 授業中にストップウォッチで時間を計っていたが、それをすることで取り残されたりする弊害はないのか。	○ 50分の授業で完結するには必要であり、小テスト等を実施し、その後個別指導をすることで取り残しがないように指導している。
○ 特別支援学級の生徒の時間割はどうなっているか。	○ 実技教科は通常学級の生徒と一緒に学習をしている。
○ 学校評価は概ね向上しているが、生徒活動の意欲的な学習、家庭学習、読書は値が低い。学校だけでは解決できないので家庭と連携できるように周知をお願いしたい。	○ 引き続き家庭と連携した指導を行いたい。
○ 研究授業が多く行われているが、研修に参加する職員の参加率はどれくらいか。	○ 本年度は県学びの組織活性化推進プロジェクトの指定を受け、年3回英語の研究授業を行い、全職員で参加して研修を実施した。それ以外は、空き時間の先生方が参加している。
○ 英語は少人数指導が行われており、小学校は専科指導がされている。小学校と連携した取組が行われるとよい。	○ 小中の接続が大切である。校種間連携研修会等を通して、検査の結果を共有して対策を行う等の踏み込んだ連携が必要であると考えている。